

## 第 11 回 ガバナンス検討会 実施概要

当社は、包括的なガバナンスの点検と強化を目的としたガバナンス検討会を定期的を開催しています。今般、次の通り第 11 回ガバナンス検討会を実施しましたので、その概要について以下の通り開示します。

### 第 11 回ガバナンス検討会

#### 1. 検討会の開催概要

開催日：2024 年 3 月 19 日

出席者：

山下代表取締役、大山代表取締役、川口取締役  
横尾取締役、谷取締役、石村取締役、石黒取締役、武田取締役  
佐藤監査役、辻監査役、太田監査役、小林監査役、古川監査役  
鈴木コーポレート執行役員【ESG 担当（内部統制・リスクマネジメント・法務領域担当）】

テーマ：2024 年度重点経営リスクについて

テーマ設定の背景：

当社は、持続的な企業価値向上の実現に向け、経営理念や事業目的などに照らし、経営に大きな影響を及ぼすリスクを網羅的に識別した上で、重点経営リスクを決定し、リスク低減に向けた対策を行っています。

取締役会および監査役会は、ステークホルダーの観点を含めて、リスクマネジメントシステムの整備・運用状況の監督・監査に努めており、今般、その一環として、2024 年度重点経営リスクならびにリスクマネジメントシステムについて、点検と検討を行うこととしました。

#### 2. 概要

執行の担当部門より、当社グループのリスクマネジメントシステム（リスクマネジメント体制、リスク評価基準、重点経営リスク決定プロセスなど）についての報告を受け、検討にあたり考慮した社内外の環境変化やリスク認識の変更点などについて確認を行うとともに、2024 年度の重点経営リスクの内容および対策について検討を行いました。

また、経営層へのコンプライアンス教育の実施状況や ESG に関する外部評価等についても共有がなされました。

以上の報告ならびに確認・検討を踏まえ、次のような議論が行われました。

##### 1) 2024 年度重点経営リスクについて

- 「地政学リスク」について、各国での政治動向に対し複数のシナリオを想定したリスクマネジメントの必要性やサプライチェーンへの影響についての議論がありました。また、成長する市場におけるビジネスの機会損失リスクなどについて、議論がありました。
- 「デジタルサービスの会社としての R&D プロセス確立」について、当該リスクカテゴリーに包含されている、AI 応用などでの倫理的・法的・社会的課題への対応についての議論がありました。執行の担当部門より、リスクの対策として、技術倫理についての推進体制のもと、継続して対応およびその強化が図られているとの説明がありました。
- 「公的な規制への対応（独禁法・競争法）」について、当社グループのグローバルな事業展開に鑑み、海外子会社におけるコンプライアンスリスク増加の可能性などの議論がありました。

##### 2) ESG の外部評価について

- 当社グループの ESG への取り組みが外部からの高い評価を得られていることについて、ブランドイメージや企業価値向上につなげていくことの重要性などの議論がありました。

以上